

終活のブックリスト

※資料は貸出中の場合があります

1人暮らしの「終活」をはじめよう！

『卒業のために書き残すファイナルノートBOOK』 林清子著 幻冬舎ルネッサンス
2012年12月刊

直接記述もでき、読み進めながらファイナルノートの作成ができます。表や写真がところどころに載せられ、一般的な費用も紹介されているため、葬儀のことなどがよりはっきりとイメージできる1冊です。

『おひとりさまの老後』 上野千鶴子著 法研 2007年7月刊

老後、1人になったときにどうやって楽しく暮らしていくか。そのための準備や心構えがわかりやすく書かれています。この本は女性向けの本ですが、同著者から男性向けの『男おひとりさま道』という本も出ています。

『終活ハンドブックーこれだけ知っておけば安心！ー』 本田桂子監修 PHP研究所
2011年8月刊

終活について、お金のこと、介護のこと、遺言書、葬儀と4つの視点から書かれています。終活に興味を持っている方からこれから終活を始めたいという方まで、幅広く読んでいただけます。

『終活難民ーあなたは誰に送ってもらえますかー』 星野哲著 平凡社 2014年2月刊（平凡社新書）

超高齢社会を迎え、切実になる葬送の問題。死後を託す人がみつけれない人々を支え、社会で死を受け止める道を模索します。

『「終活」バイブルー親子で考える葬儀と墓ー』 奥山晶子著 中央公論新社 2013年8月刊

終活をしたいと考えている人はもちろん、親が老後を迎える・迎えたと言う世代の方にもオススメです。親子で終活を考えるきっかけにすることができる1冊です。

その他にも図書館にはたくさんの資料があります。

他館の資料や貸出中の資料は予約をすることができます。

どうぞご利用ください！

